令和８年５月１８日

組合員・利用者の皆様へ

つくば市農業協同組合
代表理事組合長　関　喜幸

令和７年度決算概況について

当組合の決算概況につきましてご報告申し上げます。

令和７年度は、当組合で保有する債券のうち、時価下落率・評価損の大きい債券について、将来の安定経営を確実にするため売却・減損処理を行うことを判断し、この損失計上により赤字決算となりました。

組合員・利用者の皆様には多大なご心配・ご迷惑をお掛けすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

１．対応の概要

令和７年度は日本銀行の政策金利の引上げ等の影響により、当組合が保有する債券の評価損（含み損）が拡大したため、今後の政策金利の動向を踏まえ、時価が著しく下落した債券の売却・減損処理を行いました。その結果、農協法で定められた出資に対する配当制限に抵触し、出資配当が出来ない状況となりました。

２．今後の方針について

金利は今後も上昇傾向にあるものと考えておりますが、余裕金の運用においては安定的な収益確保が求められます。そのため、債券での運用も継続的に行うことが必要であり、今後はデュレーション（投資した資金を回収するまでの平均期間）を短くするなど、安全性やリスク分散を最重視した安定的な運用を検討してまいります。

組合員・利用者の皆様に安心してご利用いただくため、健全性の高い経営を確保してまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上